



宮崎駿の裏側

みるひと、つくるひと、そして、作品

『この本に、資料的価値はいつさいありません』（宮崎 駿）

宮崎駿以外の監督で宮崎作品の続篇を見たいとは思わない。（相良英明）

ただちよつと照れ臭そうに、誰もが帰り道で少しだけ饒舌になる

（酒井 信）

メッセージで映画をつくるのは間違いないんです。（宮崎 駿）

「宮崎さん」のいない世界というのは
想像もつかない。（久美 薫）

結局、おのが回復しようとしている森の力を、
ミヤザキは侮ったのだ。（武村知子）

東京の中でなにをゴタゴタ
言ってるんだよっていう。
（宮崎 駿）